

59歳管理職の退職勧奨は 廃止すべきでは

～ 強制ではなく協力の範ちゅうである ～



おのゆうじ
小野 勇 治

緑政会

質

退職勧奨制度は早期退職する事情がある場合などはあっていいと思うが、管理職は59歳という慣例は他の自治体で例はあるか。また、再任用を利用した方はいるのか。

答

総務課長

県下14市のうち、管理職に限定して勧奨している実態は今のところ見受けられません。再任用は、制度はありますが運用していません。

質

現行の社会保障制度である年金制度と連動していない。65歳定年が言われている中で逆行しているのでは。制度を拒否した方はいたか。

答

総務課長

協力をお願いです。で、拒否したということではないと思っています。

質

結果的に強制になっている。60歳まで働きたいという権利の侵害にならないか。60歳まで希望する管理職が出る場合の対応は。

答

市長

あくまで協力をお願いするもので、行革が完遂できるまで協力をお願いします。

質

将来の職員構成が住民サービスはもとより、市役所の組織運営に影響が生じると考えるが、土木技術職で20歳代が1人もおらず、合併から1人も採用がない現状は早い解消が必要と思うが。

答

総務課長

年齢が上がってきている実態はあります。しかし、今年度は支所の土木技術職員を本庁に集約することも踏まえ、事務効率化はクリアできているかなと思います。

その他の質問
広報7月号の市民病院の健診に係る宣伝について

質

女性管理職の登用は積極的に行うべきで、ぶんごのおの生き生きプランの数値化目標があるのか。

答

総務課長

管理職の部分は数値目標に含まれていません。

質

平成28年度から数値化目標が義務付けられる。現状の女性登用のポイントは。

答

総務課長

男女で差別することはありません。管理職候補の年代で女性の構成比率が少ない実態があります。その中でも有能な人材を登用していく方針は変わりありません。





うち だだ とし かず
内 田 俊 和

緑政会

市長からの要求に基づく 監査結果について

～ 公金であることを深く認識し、
厳正なる取り扱いを行う ～

質

市長に対し措置を求める事項、監査委員からの適切な措置を講じられたいとの要請について、どのように対応しているか。
補助金の返還は求めたのか。

答 市長

平成26年度観光協会運営補助金に対する監査結果報告では所管課における要綱の未整備及び指導監督不足等も指摘されており、執行部として深く反省し、

質

ぶんど大野里の旅公社の補助金についても交付要綱を定めているのか。

答 市長

補助金に適用となる要綱は未整備でありましたが、本年3月に整備しました。

質

補助金交付事務に適正を欠く事例が認められることから、他の補助金交付団体においても、同様の状況が懸念されると監査指摘されたことを真摯に受け止め、市民の信頼に応える対策について、どのように考えているのか。

答 市長

市民の皆さまから納付された税等を財源として補助金制度が成り立っていることを再認識し、その執行や確認事務は、慣例的な事務処理に終わらない意識の改革が必要であると考えています。

豊後大野市の農業振興を どのような目標をお持ちですか

～ 担い手の確保・育成を ～

質

農業振興は少子化、高齢化によることが課題ですが、今日の対策はどのようなものになっているか。

答 農業振興課長

農業の現状について、問題や課題を整理すると共に、農業構造の確立に向けた取り組みとして、担い手の確保・育成に取り組みました。

質

地域創生で何か取り組む考えはありますか。

答 市長

地域ブランドの確立と販売戦略の構築に取り組むこととしています。

市長からの要求に基づく監査結果報告書

平成27年5月29日

豊後大野市監査委員